

夢に向かって Go5 チャレンジ!

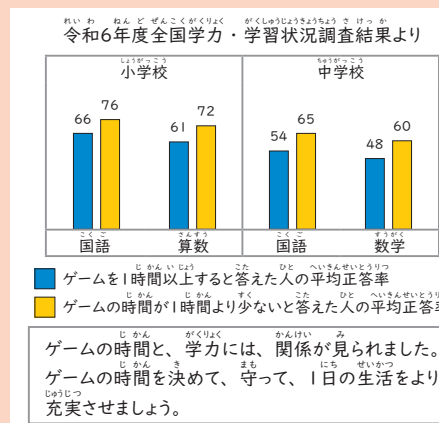
「本居宣長さんの教え 5つのチャレンジ」から、1年間続けるチャレンジや、1か月間重点的にチャレンジすることを決めて取り組みましょう。毎月5のつく日は、自分が決めたチャレンジをふり返ったり、新たなチャレンジを始めたりする日とします。家族やクラスの人々と一緒にチャレンジするのもいいですね。そして、家族や友だち、先生と自分の成長を語り合しましょう!

チャレンジ 1 「生活習慣を確立する」チャレンジには、1年を通して取り組みましょう。

【生活習慣を確立する】

□生活習慣を身に付け、自己調整力(目標達成に向けて、行動や感情などを調整する力)を高めましょう。

- 十分な睡眠時間を取り、元気な心と体をつくろう
寝る時間 (:) ~ (:)
- 毎日の学習・読書を大切にして、学習習慣を身に付けよう
学習する時間 平日 (:) ~ (:)
休日 (:) ~ (:)
読書する時間 平日 (:) ~ (:)
休日 (:) ~ (:)
- ゲームをしたり、動画を見たりする時間を決めて、放課後や休日の過ごし方を充実させよう
1日 () 分まで
- スマートフォンなどの使い方について、ルール・約束をつくろう
大切なのは実行力!! 計画を立てて頑張らしましょう!!



チャレンジ 2 チャレンジすることを自分で決めたり、家族で話し合ったりして取り組みましょう。タブレットを使って二次元コードを読み取り、チャレンジの参考にしましょう。

【主体的に学ぶ】

□自分で計画を立てて勉強し、学びに向かう力を身に付けよう。

【説明力を伸ばす】

□自分の考えが伝わりやすいように、話したり書いたりしよう。

【考えを深める】

□人や本、自然などから学び、自分の考えを広げたり深めたりしよう。

【学んだことを活用する】

□学んだことを、日常生活や他の学習でも役立て、生活を豊かにしていこう。

毎月5のつく日はGo5チャレンジデー
毎月5のつく日は、チャレンジを決めたり、ふり返ったりしましょう。「チャレンジ 1」や「チャレンジ 2」に取り組むことができていたら色をぬって、自分のがんばりを確かめましょう。



夢や希望をかなえるために

本居宣長さんの教え

「すべて新なる説を出すはいと大事也」
(たえず自分の頭で考えた新しいことを出してみることはとても重要です。)

自ら問いを見つけ、学んだことを活かし、判断して行動する中で、新たな考えや価値を創り出すことが大切です。

→ 新たな価値を創造する力・新たな問題を発見し解決できる力



「はじめよりその志を高く大きに立てて
その奥を究めつくさずはやまじ」
(最初から高い目標を立てて、それを解決するまではやめないと固く決意することが大切です。)

理想を実現しようと、高い志をもち、自分の個性や能力を伸ばして、粘り強く学び、自ら考え、判断し、行動することが大切です。

→ 主体的に判断できる力

「物の心を知るは 世のありさまを知り
人の情に通じるより出ずる也」
(物事の本質を理解するということは、世の中の出来事や人の心をよく知ることから始まります。)

自分の考えを根拠とともにわかりやすく伝え、相手の考えを理解し考えを広げたり深めたり、相手への思いやりをもち力を合わせ活動したりすることが大切です。

→ 多様な人々と協働していくことができる力

5つのチャレンジ

【生活習慣を確立する】
わたしたちは、3つの時間(寝る時間・学習する時間・読書する時間)や、テレビを見たりスマホ・ゲームをしたりする時間を決めて、規則正しい生活習慣を身に付けます。

【主体的に学ぶ】
わたしたちは、自分で計画を立てて勉強し、学びに向かう力を身に付けます。

【説明力を伸ばす】
わたしたちは、自分の考えが伝わりやすいように、話したり書いたりします。

【考えを深める】
わたしたちは、人や本、自然などから学び、自分の考えを広げたり深めたりします。

【学んだことを活用する】
わたしたちは、学んだことを、日常生活や他の学習でも役立て、生活を豊かにしていきます。

夢

を育み未来を切り拓く ~子どもも大人もつながり合って、学び合い、育ち合うことを大切に~

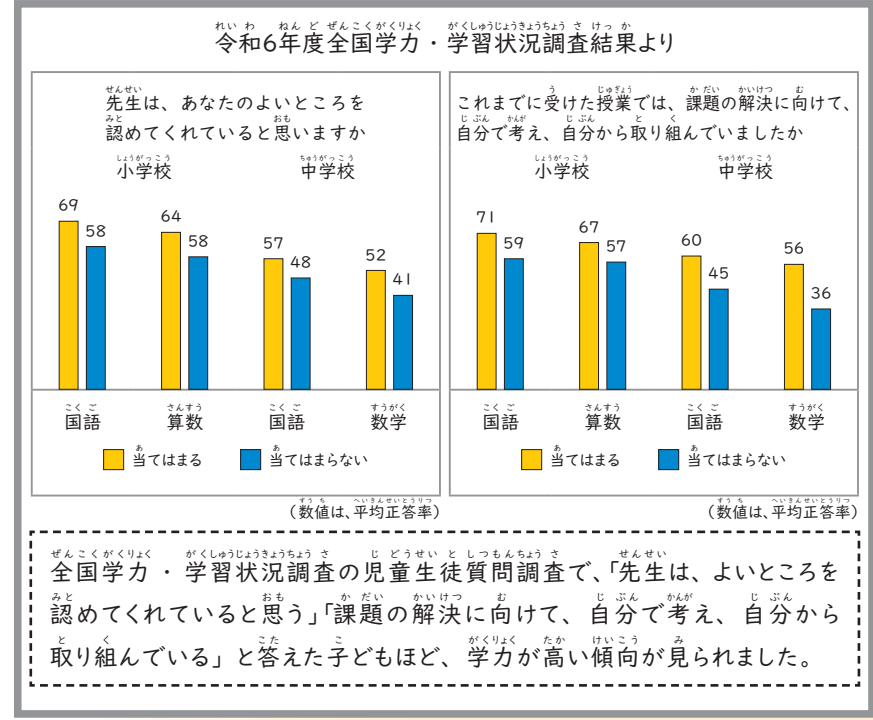
「自ら学ぶ」「他者と学ぶ」「新たに創る」子どもを育てる!!

まつさか しきょういく いんかい
松阪市教育委員会

家庭・地域・学校のみなさんへ

子どもの「やってみたい!」「伝えたい!」「学んで楽しい!」を引き出すために、あらゆる大人が子どもの成長に関わり、つながり合いましょう。
子どもたち一人ひとりが、「自分らしい未来」を切り拓いていけるよう、3つの「心得」を意識し、ともに頑張りましょう。

令和6年度松阪市学力向上推進協議会



「できたか、できていないか」が唯一の評価基準になれば、人生のピークが今になってしまいます。ほめるも叱るも「成長」させるチャンスです。子どもの「成長」や「頑張り」、「取組の過程」を認め、ほめ、励まし、学習意欲を重視した教育の在り方を大切にしていきましょう。

松阪市学級経営マイスター 菊池省三



家庭 生活習慣の確立を！
豊かな経験を！
読書の楽しさを！

地域 地域での関わりを！
学校教育活動への参画を！
行事等の充実を！

学校 安全・安心な
学級・学校づくりを！
主体的・対話的で
深い学びの実現を！

家庭・地域・学校でチャレンジしませんか？

右記二次元コードを読み取ると、家庭・地域・学校の3者の取組例を見ることができます。例えば、「家庭」の「読書の楽しさを！」については、「家族で同じ本を読む」「時間を決めて、みんなで読む」などの取組例を紹介しています。

3者の取組例

学力を「育み」「支え」「伸ばす」家庭・地域・学校

心得 その1 自己肯定感を育む!!

- 子どもとのあいさつや会話を大切にする
- 子どもの思いを受け止めたり、様子を見守ったりする
- 子どもの活躍する機会をつくる
- 子どもと一緒に楽しんだり、成長をともに喜んだりするなど、小さな成功体験を重ねられるようにする

心得 その2 「楽しい」へと誘う!!

- 子どもの興味・関心がある「もの」や「こと」をとらえる
- 子どもの興味・関心に合わせて、「人」「もの」「こと」に関わる機会をつくる
- 「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どのように」など、問いかけながら、子どもの思いを引き出し、聴き、受け止める

心得 その3 大人がつながる!!

- 保護者間・地域間・教職員間でつなぐとともに、コミュニティ・スクールを核に、家庭・地域・学校がつながる
- 保幼小中連携を大切に異校種間でつなぐ